

議会だより

編集：議会だより編集委員会



定例会の概要・一般質問

平成23年第2回朝霞市議会定例会は、6月6日から6月27日までの22日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から3議案が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案が原案のとおり承認・同意されました。また、議員提出議案が2件提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

議案の要旨については、広報あさか8月1日号の議会だよりをご覧ください。また、市政に対する一般質問は、6月21日・22日・23日の3日間にわたり、19人の議員から91項目の質問が行われました。ここでは、その中から一部を掲載しました。

質問議員（発言通告順）

獅子倉千代子	福川 鷹子	岡崎 和広
船本 祐志	高橋 勅幸	佐野 昌夫
須田 義博	大橋 正好	堀内 初江
石原 茂	神谷 大輔	浦川 和子
篠原 逸子	本山 好子	利根川仁志
小山 香	藤井由美子	石川 啓子
齊藤 弘道		

総務関係

3・11東日本大震災後の防災対策・対応について

○福川鷹子議員 3・11午後2時46分みどりの大地震が日本列島に襲いかかりました。亡くなられた方のごめい福を祈るとともに避難所生活を送

つておられる方々が一日も早く元の生活に戻れることを願っています。さて、大震災当日、朝霞市においても固定電話、携帯電話も使えず防災無線も機能しませんでした。災害時には安全確保をはじめ人命救助、安否確認等当面の被災状況の把握や相互連絡の情報伝達が必要不可欠です。今後災害があったとき、防災無

線の改善、これに代わる連絡方法について伺います。

○総務部長 防災行政無線の子局は、平成23年6月現在、市内に93か所あります。この防災行政無線の放送については、聞こえない、あるいはうるさいといった指摘をいただくたびに、スピーカーの向きや音量の調整を行っていますが、風向きや湿度等によっても聞こえ方に差が生じるなど調整に苦労しているところです。今後においても、引き続き、スピーカーの増設を含め難聴地域の解消に向けて努力してまいります。また、防災行政無線以外の手段については、掲示板、ホームページやツイッター、市の広報車などがありますが、状況に同じ適切な手段を用いて防災情報の周知をしていきたいと考えています。

街灯をLEDに

○岡崎和広議員 LED照明は従来の照明の約2分の1、10分の1程度の電力のため、大きな節電効果が期待できます。LED照明を導入すれば、光熱費削減が可能になるとともに、LED照明は白熱電球

の約20〜40倍、4万時間もの長寿命ですので、ランプ切れ交換の手間が少なくて済みます。

朝霞市が設置する道路照明灯、自治会・町内会で設置する防犯灯をLED照明に切り替えられないでしょうか。お伺いいたします。

○総務部長 一部の自治会・町内会から防犯灯としてLED灯を使用したいというご意見をいただいたので、すでに市の防犯灯補助制度において、LED灯についても補助対象としています。LED灯は蛍光灯に比べ単価が高いため、導入が進んでいない状況です。今後さらにLED灯の普及が進めば単価が下がるなど、より導入しやすくなるのではないかと考えています。

○都市建設部長 市内すべての道路照明灯をLED照明灯に変換するには、初期投資が膨大となるため難しいものと考えています。なお、平成21年度から毎年2基ずつ試験的にLED照明灯を設置し、その効果などについて、現在検証しているところです。



電力不足対策について

○高橋勲幸議員 電力不足対策についてお伺いします。電力消費を抑えられるLED照明の購入助成についてです。

足立区では6月からLED照明を購入すると区内共通商品券と交換する事業がスタートしました。LED照明購入助成については市の考えを伺います。また、LED防犯灯の補助についてです。町内会等においても、節電対策としてLED化を検討したり、すでにLED化している町内会もあると聞いています。LED防犯灯の補助について、市の考えをお伺いします。

○市民環境部長 LED照明は、従来の照明灯に比べ消費電力が少ないため節電対策として効果があり、また、長寿命であることから電球交換の回数が少なくなるため、電球の廃棄量削減につながることも期待されています。しかしながら、従来の電球や蛍光灯と比べて光の照射範囲が狭いこと、単価が高いことなどが課題となっています。市として、家庭用照明器具等を含めたLED照明の補助につ

いては、埼玉県や先進自治体の状況を参考とし、引き続き、調査研究をしたいと考えています。

○総務部長 現在、市内には自治会・町内会等で所有している防犯灯が約3300灯あり、こうした防犯灯の設置および維持管理に対し、補助制度を設けて補助をしています。LED防犯灯も今後、その活用が図られる可能性が高いという観点から、補助対象としているところとです。



宮戸防犯パトロールステーション閉所後の取り組みについて

○佐野昌夫議員 自主防犯パトロールの拠点であった旧宮戸防犯パトロールステーションですが、周辺で活動する自

主防犯パトロール隊の利用や、市の青色防犯パトローカーの巡回拠点になっていました。しかし、立地していた交差点は、従来から交通渋滞がひどく交通の円滑化を進めるために、昨年12月にステーションを閉所し、県の道路拡幅事業に協力することになったと聞いています。このステーション閉所後の青色防犯パトロール体制と、今後の考えを伺います。

○市長 閉所に伴い委託警備会社による青色防犯パトローカーの巡回パトロールを月15日から月20日へ増やすとともに、さらに一日の巡回時間を計4時間30分であったものを8時間に大幅に増やすなど、パトロール体制の強化を図りました。また、市民センター8か所と内間木公民館を青色防犯パトローカー立寄所として位置づけ、自主防犯パトロール隊との連携も視野に入れながら巡回中に立ち寄りやすくなるなどの変更を行いました。

今後については、朝霞警察署からの犯罪情報や不審者情報にも留意するとともに、犯罪被害防止のため防犯パト

ローカーに装備している拡声装置を活用した放送を実施するなど、状況に応じて効果的な防犯パトロールを行い、より実効性を高めていきたいと考えています。



振り込め詐欺の防犯啓発について

○須田義博議員 今年に入っ

て全国的に振り込め詐欺の被害件数が増えています。市内の昨年と今年の被害件数を把握していますか。市では現在まで振り込め詐欺に対してどのような対策をとられているのか、主に警察との連携はどうだったのかお聞きします。さらに、市としての防犯の啓発活動はどのようにされてきたかもお聞きします。お年寄りに対するものや、被災者を

装ったものまであるようすが、卑劣な手段による詐欺行為は許せません。考えられる対応と対策を今考えるべきです。

○総務部長 朝霞市内の被害状況ですが、1月から5月未まで4件1200万円もの被害が出ています。市では朝霞警察署からの依頼に基づき、防災行政無線による振り込め詐欺に対する注意喚起放送の実施や朝霞駅前の電光掲示板を使用し、振り込め詐欺注意のテロップを流すなど、被害を食い止めるために努力しているところとです。引き続き警察と連携を深めながら、市民の皆様が被害に遭うことのないよう積極的な広報、啓発活動に努めていきたいと思



原子力発電から 自然再生エネルギー への転換について

○堀内初江議員 福島原発事故は3か月が経過をしても被害が拡大し続け日本の災害史上、類を見ない深刻さをもつ災害となっています。一方、日本の自然エネルギーは大きな可能性を持っています。原子力発電から自然再生エネルギーへの転換を進めることが必要と思われれますが、その見解を伺います。

○市長 今後のエネルギー政策を考えると、地球温暖化を抑制するためのCO₂の削減への取り組みも、また着実に進めていかなければならないことも明らかです。市としては、第4次総合振興計画から新たに加えた低炭素社会の推進に向けて、住宅用太陽光発電システム設置費補助制度などの取り組みにより、安全でクリーンなエネルギーへの転換を促進するよう、取り組んでいきたいと考えています。



国家公務員宿舎事業について

○小山香議員 わが国の現在の緊急かつ必須の事業は、東日本大震災の被災地の復旧・復興である。朝霞基地跡地の国家公務員宿舎建設事業は、不要不急、すなわち緊急度が低く、必須なものではない。公務員宿舎は、今建てなければならぬものではない。付帯施設の休日・夜間診療所等は、朝霞市内の遊休施設での開設が可能である。朝霞市は国に対し、公務員宿舎建設の事業を取りやめ、被災地で住む家のない人、仕事のない人にお金を使うよう建設資金を東日本大震災の復旧・復興資金に充てるよう申し出をしていただきたい。

○市長 現下の急務は被災地の復旧であり、被災者の生活再建に一日も早く道を開くことです。国家公務員宿舎は国の事業であり、その経費の取り扱いを含めて国が判断すべきものと考えています。

東日本大震災後の国家公務員宿舎建設事業の考え方は、5月に、又市参議院議員からの質問主意書に対する政府答

弁に、「政府としては、東日本大震災からの復旧・復興のため、全力を挙げていく所存である。なお、現下の厳しい財政事情の下、公務員宿舎の整備については、必要最小限にするとの観点から、真に整備が必要と考えられるものに限って、事業を実施することとしている。」と聞いています。この政府見解に、本市から異議を申し出る考えはありません。

災害時の応援協定について

○藤井由美子議員 今回の大震災で、災害時の応援協定が効果を示した。以前の質問に、県内全市町村で協定を結んでいるから大丈夫とのことだったが、近いところでは同時に被災することもありうるので、ある程度離れた市町村との協定を考えてはどうか。また、災害時、低地からの避難所が遠くの高台ではかえって危険なこともある。地域の高い建物と協定を結び、緊急時の避難場所として使えるようにしてはどうか。市内の小売・流通事業所との協定もさらに進めるべきではないか。

○総務部長 災害時応援協定については、民間企業、近隣自治体および県内全市町村と応援協定等を締結しています。今後、災害に対する備えを万全にする意味からも、県外の自治体等との応援協定締結に向けて調査をしたいと考えています。

台風などの大雨により洪水が発生した場合、強固で高さのある高層建築物などに一時的に避難することは、災害から身を守る観点からも効果があるものと考えます。今後、浸水が想定される区域などに立地する倉庫などを一次避難場所として使用することができないか等について、調査研究をしたいと思えます。

協定の拡大、見直しについては、相手方のあることなどで、直ちにどことどことするということは言えませんが、民間企業、自治体を含めていろいろな角度から考えていきたいと思っています。



建設関係

交通安全対策について

○獅子倉千代子議員 市道1号線と交差する市道292号線と市道49号線の交差点ですが、ここは通称綿屋の坂の下と言われるところです。この地点の信号機設置については、私が議員になってから多くのことから歩行者用信号機を設置してほしいという声を聞き、何度も要望をしてみました。1号線は交通量も多く、カーブしている下り坂は見通しが悪くスピードもあり、たいへん危険です。安心して渡れるよう早く設置していただくよう要望しますが、信号機設置の見直しについて伺います。

○都市建設部長 市道1号線綿屋の坂の下につきましては、これまで要望を行っていましたが、朝霞警察署に確認したところ、平成23年9月を目途に押しボタン式信号機が設置できるよう現在手続を進めていると回答をいただいています。



膝折町2丁目8番の住宅開発について

○大橋正好議員 膝折公園の隣地、黒目川寄りの新しい住宅開発で戸建住宅が完成して人口増となり、住民増はたいへんによいことですが、地域住宅付近の生活道路、電柱や交通標識ポール個所が未整備なために交通や通勤、通学の通行に危険な場所となる状況です。今後はこの住宅開発周辺の安心安全の点から考え、この未整備道路や、電柱、交通標識はどうなるのか、今後の予定をお知らせください。

○都市建設部長 指摘の電柱と交通標識について、電柱はNTTと移設先を協議していきたいと思います。交通標識は、朝霞警察署に意見を伺ったところ、現在の位置で支障はないとのことでした。

前面道路の市道529号線は、付近での開発が進み、以前より交通量が増加していることは認識しています。道路整備計画上では、6分の拡幅計画路線ですが、優先順位が高くない、第2期整備対象路線に位置づけられています。

しかしながら、今後の交通

量の状況等によっては、優先順位の見直しも検討していきたいと考えています。

旧暫定調整区域のまちづくりについて

○石原茂議員 旧暫定調整区域が1月21日付で市街化区域編入となりましたが、農家にとっては市街化区域になったことで農地が宅地並み課税となるとたいへん厳しい農業経営を強いられます。農業の継続を望む人は生産緑地を希望しないと収益が減ってしまいます。また、すべての土地を生産緑地に指定すると将来の土地活用ができなくなりま

す。私もそうですが、今回も平成3年当時と同じく農家にとつてはたいへん難しい判断をしなければなりませんでした。どれくらいの農地が生産緑地地区に指定されたのかをお聞きます。

○都市建設部長 市街化区域に編入されたことにより、農業を継続される皆様に対して不利益にならぬよう、また生活環境の確保に役立つことから、農地を適正に保全していくために合計32地区、面積16・2畝の生産緑地地区を

指定したところです。今後、関係権利者の皆様のご理解をいただきながら、地区計画で定める地区施設道路など、都市基盤の整備に努めていきたいと考えています。

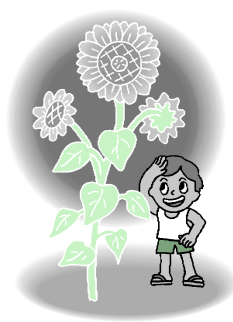
道路照明灯の設置を

○浦川和子議員 膝折2丁目の信号の角においては、今まで飲食店が営業しておりまして、閉店後、看板等の照明が消え以前よりだいぶ暗くなっている状態です。周辺地域の交通安全のため、地域の方からの要望もあり一日も早く道路照明灯を設置していただきたいのですが、市の見解を伺います。

○都市建設部長 膝折2丁目の交差点については、県道新座和光線に県道朝霞藤線が接続する丁字路となっているため、道路管理者の朝霞県土整備事務所に対し道路照明灯の設置について伺ったところ、現地は暗いことを認識しているとのことでした。そのことから、近傍にありますNTT柱へ共架することが可能かどうか協議を行い、協議の結果、共架は不可能という場合にはNTT柱の反対側にある既存

の照明灯を照度の高い電球に取り替えると聞いています。

また、NTT柱への共架について、朝霞県土整備事務所とNTTとの協議はすぐに行うということでしたが、残念ながらNTTがどのくらいで返事をくれるかわからないということでした。



教育環境関係

(株)武蔵野埼玉統合工場に係る問題について

○利根川仁志議員 朝霞市泉水3丁目82番先を(株)武蔵野が購入し、埼玉統合工場の建設計画を行うことになり、市の開発条例に基づき近隣への説明会をこれまで4回行ってきました。説明内容では市内の工場2か所を含め敷地に統合し365日24時間稼働であることが確認できました。この統合

工場には従業員約千名が働くとの報告もあり、近隣住民の不安や疑問が広がりました。建設地前の市道428号線の安全対策、騒音や臭気の問題、泉水坂の歩道の確保、地盤沈下の問題等朝霞市としての指導対応について問う。

○市長 今回の開発に対しては、地域の方々からさまざまな意見や要望が寄せられていることは承知しています。担当課に対して、速やかに状況を報告するように指示しており、また事業者に対しても、誠意を持って住民の方々に配慮をしていただくよう指導しています。

市道5号線、泉水の坂の歩道拡幅については、私も以前地権者の方にお話ししており、今後も粘り強く交渉はしたいと思えます。

市道428号線への歩道の設置指導においても、職員が事前に地権者の方に説明方々お願いに伺い、警察との現地立ち会いなど対応しています。

騒音、悪臭、地盤沈下等の公害問題についても、現在、住民の方からの要望を受けて、事業者において何が実施できるのか検討している段階です。

民生関係

ので、その結果を踏まえて事業者への指導、あるいは市として何ができるかを今後検討していきたいと思っています。

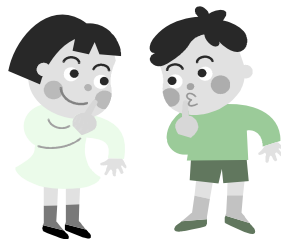
3人乗り自転車の検討経過について

○船本祐志議員 3人乗り自転車の問題については、平成21年6月議会で、子育て支援対策のために購入補助が、レンタル方式の実施について質問をし、検討するとの答弁をいただきました。検討の結果、8月から社会福祉協議会がレンタル方式で実施するとの回答がありました。わたしは、過去の質問の中で修理など安全性の面から市内の自転車販売店で実施することを提案してきました。なぜ社会福祉協議会で実施することになったのか、今までの検討経過と理由をお伺いします。

促進を図る有効な手段であると考え、先進自治体の事例を調査研究してきたところです。今回、本市においては、3人乗り自転車の普及程度や価格等を考慮した結果、レンタル事業が適切であると考えるところに、先進自治体の実施事例を踏まえ、朝霞市社会福祉協議会に3人乗り自転車レンタル事業の実施を要望してまいりました。その結果、本年8月から朝霞市社会福祉協議会により3人乗り自転車レンタル事業の実施が予定されているところです。

児童虐待防止への「通告義務」について

○神谷大輔議員 児童虐待防止で言われているのが、実際にほとんどが家庭の中で行われ、発見が難しく、さらに虐待者が親であるために、子どもは逃げたり救いを求めることが困難となっており、発見されにくい特質のため早期発見・早期対応が重要です。他人の目・地域の目があれば、虐待事件の8割が救われたはずだとも言われています。児童虐待の防止等に関する法律の第6条に通告義務を課して



います。これは、通告しても守秘義務により守られ、例え間違っても何ら問題もなく罰則もありません。速やかに通告する義務への取り組みを伺います。

無縁社会への対応について

さらに本年2月から随時、「広報あさか」の紙面を利用して児童相談所全国共通ダイヤルを掲載して、児童虐待の通報先の周知を図っているところです。

○篠原逸子議員 現在、高齢者や若者の単身化が増加の傾向にあります。子どもやおいめい等血縁があるにもかかわらず一人暮らしや無縁死が増えています。また、若者の晩婚化と生涯未婚率の上昇や不安定な雇用が原因で職場での人間関係がづくりにくくなっている等により、若者の単身化が増えています。こうした状況に対応するためこれまでにないコミュニケーションや取り組みが必要ではないかと考えますが、無縁社会への対応についてお聞きします。

高齢者に熱中症計を配布することについて

○本山好子議員 昨年の猛暑では、救急搬送されたうち、多くの方が65歳以上の高齢者だったと言われております。気温と湿度から危険度を知らせてくれる熱中症計を日常用品の給付としてぜひわが市でも配布してほしいのですが、いかがでしょうか。

健康づくり部長

本市において無縁社会そのものに対する対応は、高齢者の孤独死を防止することや社会参加の促進を図るなど、個別課題として対応することが重要と考えています。一人暮らしの高齢者への対応策としては、緊急

福祉部長

児童虐待を防止していくためには、市民の方が発見した後の通告が非常に重要であることから、今まで地域ごとに分かれていた連絡先が全国共通となりました。本市においても、この児童相談所全国共通ダイヤルが記載された啓発チラシおよびカードを保育園や幼稚園、小学校、中学校を通して配布し、周知を図っているところです。

福祉部長

また、毎年11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、「広報あさか」に関連記事を掲載するとともに、朝霞駅前電光掲示板で児童虐待防止推進月間のお知らせを行っています。

さらに本年2月から随時、「広報あさか」の紙面を利用して児童相談所全国共通ダイヤルを掲載して、児童虐待の通報先の周知を図っているところです。



今年も毎日ニューズで熱中症による死亡者が報告されています。命にかかわる対策の一つとして身を守るものとして至急配布をお願いします。

○健康づくり部長 熱中症計は、湿度や温度をもとに熱中症の危険度を知らせるもので、高齢者が熱中症対策を取る一つの目安として活用できるとして、熊谷市では、一人暮らしの高齢者に携帯型の熱中症計を配布したとのことでした。

しかしながら、この機器に対する公的な評価がないことや、熱中症の危険がありと表示された場合に具体的な対応をどうするかなど課題もあり、今後は、利用状況の把握を初め熱中症計の導入について調査研究したいと考えています。

公設民営保育園での保育士の退職について

○石川啓子議員 運営を㈱ベネッセスタイルケアに委託している宮戸保育園の22年度退職者は21人、運営を㈱こどもの森に委託している仲町保育園でも8人も退職しています。宮戸保育園は常勤保育士が契約書どおり配置されておらず、非常勤保育士も企画提案書で

は10人配置するようになっていますが7人しかおらず提案どおりに配置されていません。多くの保育士が入れ替わることで保育に支障が出ていることは明らかです。これは契約違反であり、指導、勧告など行ってきましたか。

○市長 非常に退職者が多いということは聞いてはいますが、やはりこういうことでは少し困りますので、きちっと指導したいと思います。そして、契約の内容について相手が不履行しているのであれば、相手の対応状況によってはその契約書をよく精査して、法的措置がとれるのであればとりたいと思います。

議会の詳細は会議録で

審議内容を詳しくお知りになりたい方は、市政情報コーナー（市役所3階）のほか、図書館または各公民館図書室で会議録をご覧ください。また、市ホームページからもご覧いただけます。（今回の会議録は、9月上旬に公開を予定しています。）



朝霞市議会会議録

寄付行為の禁止について

議員の寄付行為は、公職選挙法の規定により禁止されています。

次のようなものが寄付禁止の対象になります。

- ・お中元やお歳暮
- ・暑中見舞いや年賀状などの時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）
- ・本人が出席しない結婚式の祝儀や葬式の香典
- ・まつりや親睦旅行への差し入れや寸志等



埼玉県の選挙統一キャラクター「選挙くん」

市議会を傍聴してみませんか



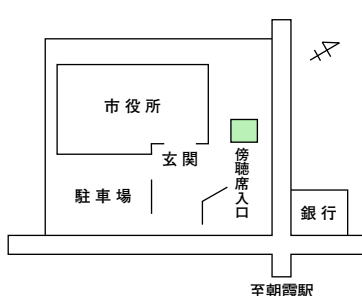
議会を傍聴することは、市民として市政を身近に知るための最もよい方法です。皆さんが選んだ議員がどのような活動、仕事をしているかなどを十分ご理解いただけたと思います。

市議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。ぜひ傍聴にお出かけください。

問／議会事務局 内2284 ☎463-0549

次回定例会の開会日は8月25日(木)の予定です

※請願の提出は、8月18日(木)午後5時までをお願いします。



傍聴席入口
傍聴席の入口は、市役所庁舎玄関に向かって右方向にあります。